

第1回

おきなわ の 保育 の あんぜん

入場料無料

9月23日 10:00-12:30 | 秋分の日

場所：地域交流センター・南風原町立中央
公民館（黄金ホール）

住所：沖縄県島尻郡南風原町字喜屋武236番地

申込：参加者の申込はQRコードから
（オンラインでの参加も可能）



申込用QRコード

講師

猪熊弘子

一般社団法人子ども安全計画研究所代表理事

大井琢

弁護士（そよかぜ法律事務所）

主催：一般社団法人沖縄県私立保育園連盟

後援：沖縄県、沖縄県社会福祉協議会、
沖縄女子短期大学、沖縄キリスト教
短期大学、沖縄子ども白書2022編
集委員会

安心して預けられる保育のために



おきなあの保育のあんぜん

～私たちの「保育」はどうあるべきか～

2022年7月、県内の保育施設で乳児が死亡する事故が起きました。『乳幼児の最善の利益保障』を目指す保育団体として、一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟は、子育てをする保護者が、県内どの保育施設を選択しても、子どもの安全を保障できる“保育”の実現のために、幅広い方々と議論し、一緒に模索していただくためシンポジウムを開催いたします。

講師のプロフィール

【猪熊弘子】

ジャーナリスト、名寄市立大学特命教授、城西国際大学特命連携教授。

明福寺ルンビニー学園幼稚園・ルンビニー保育園副園長。

一般社団法人子ども安全計画研究所 代表理事。お茶の水女子大学大学院 人間発達科学専攻 博士後期課程在籍中。待機児童などの問題を含む保育制度・政策、保育の質、保育事故の調査・研究を行っている。埼玉県上尾市の公立保育所内で4歳男児が亡くなった事件について記したルポルタージュ『死を招いた保育』（ひとなる書房）で、第49回日本保育学会 日私幼賞・保育学文献賞受賞（2011）



【大井琢】

そよかぜ法律事務所（沖縄弁護士会）弁護士、沖縄弁護士会貧困問題対策特別委員会委員長。

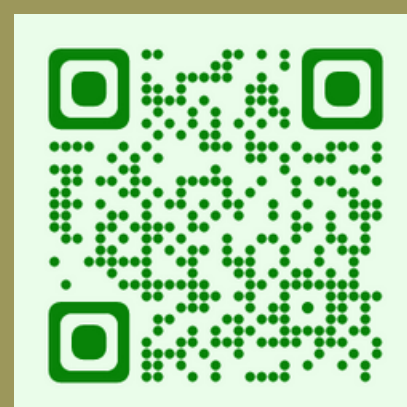
0～5歳児への保育を中心とした早期支援によって、子どもの貧困を解消し、かつ、子どもの安心安全を確保して保育事故を防ぐという観点に立ち、保育問題について幅広く取り組んでいる。

また、児童福祉法24条1項に基づいた保育所における市区町村の『保育の実施義務』の重要性についても言及している。



シンポジウムの申し込みは、9月20日までにお願います。
オンライン参加希望の方には、ZOOMの案内を後日メールで、お送り致します。

シンポジウム参加後は、アンケートへの協力もお願い致します⇒



アンケート用QRコード